

令和2年度 皆野町一般会計予算大綱

令和2年3月10日
皆野町長 石木戸 道也

1 予算編成の基本的な姿勢

地方の人口減少は全国的に深刻な問題となっており、本町も例外ではありません。この3月に策定した「第2期皆野町人口ビジョン」では、2065年（令和47年）の総人口を4,000人程度と推計しており、この対策は急務であると考えています。

こうした中で、「第2期皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を軸に置き、人口減少に歯止めをかけると同時に、第5次総合振興計画に掲げる将来像である「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現を目指す予算としました。

健康福祉課に新たに「子育て支援担当」を設置し、子育て支援専門の窓口を設けて取組を強化するほか、教育の充実、移住・定住促進、健康増進やスポーツの推進等にも引き続き力を注ぎ、生活道路等のインフラ改善も実施する等、全ての分野において安全・安心のまちづくりを進められるような予算としました。

2 予算規模

令和2年度当初予算 歳入歳出総額 4,179,700千円

令和元年度当初予算 歳入歳出総額 4,111,780千円
比較 +67,920千円

3 重点施策の柱

「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現のため、以下の6点を柱にして取り組みます。

- I 楽しく子育て・元気で長生き対策
- II 教育・文化・スポーツの推進
- III 環境保全、産業・観光振興
- IV 安全で快適な生活基盤の整備
- V 移住・定住の促進
- VI 結婚支援

4 重点施策の主な事業

重点施策に関連する主な取組と予算額は次のとおりです。

I 楽しく子育て・元気で長生き対策

○健康・福祉・子育て支援・高齢者福祉の充実

- | | |
|---|------------------|
| (1) こどもの医療費 | <u>30,000 千円</u> |
| 高校 3 年生までが対象。秩父郡市内の医療機関で受診した場合は窓口払い無し。 | |
| (2) 学童保育所保育料助成 | <u>2,160 千円</u> |
| 町民税非課税世帯、生活保護世帯及び第 3 子以降の保育料相当額（月額 6,000 円）を助成。 | |
| (3) 子育て応援 | <u>1,980 千円</u> |
| 新生児の誕生月から 1 歳の誕生月まで、毎月紙おむつ 2 パックまたは粉ミルク 1 缶を支給。 | |
| (4) 出産褒賞金 | <u>3,060 千円</u> |
| 第 1 子：3 万円、第 2 子：5 万円、第 3 子以降：10 万円 | |
| (5) 不妊治療費助成 | <u>2,920 千円</u> |
| 不妊治療や不妊検査の治療費の一部を助成。平成 30 年度から特定不妊治療の助成上限額を 35 万円に拡大している。 | |
| (6) 長寿祝金 | <u>9,870 千円</u> |
| 80 歳・85 歳・88 歳・90 歳・95 歳・99 歳・100 歳になるかたに長寿祝金を支給。 | |
| (7) 高齢者外出支援タクシー利用料金助成金 | <u>2,100 千円</u> |
| 町内全域の利用を対象として「お出かけタクシー利用券」を配付。 | |

○生活習慣病対策強化・健診受診率の向上

- | | |
|--|------------------|
| (1) 住民健診・がん検診 | <u>20,942 千円</u> |
| 健診を無料で実施。 | |
| (2) 妊婦健診 | <u>5,290 千円</u> |
| 妊婦健診費用を 14 回分助成。
助成券は母子健康手帳と同時に交付。 | |
| (3) 乳幼児健診 | <u>3,123 千円</u> |
| 乳児健診、1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診のほか、育児相談等を実施。 | |
| (4) 3 歳児健診における眼科健診の充実 充実 | <u>1,320 千円</u> |
| 新たな眼の検査装置（スポットビジョンスクリーナー）を導入し、視覚異常（特に弱視）を早期に発見可能にする。 | |
| (5) 糖尿病早期発見 | <u>215 千円</u> |
| HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）測定費用の一部を助成。薬局への測定機器設置費用の一部助成も実施。 | |

Ⅱ 教育・文化・スポーツの推進

○学力向上・グローバル教育の推進

- (1) グローバル化に対応する英語教育の推進事業 5,573 千円
従来に引き続き、グローバル人材の育成を推進。
○ALT委託による外国語授業の実施
○英語スポーツフェスティバル
○英語でクッキング
○イングリッシュキャンプ
○英語でハロウィン
○英語検定受検料補助
- (2) 学力向上推進事業 1,943 千円
児童・生徒の学習状況を把握し、課題改善に向けた取組を実施。
○外部講師の派遣
○自主学習ノートの作成・配布
○教職員研修 等
- (3) 未来を担う若者育成事業（町内小学生の海外派遣事業） 330 千円
（早稲田大学連携事業） **新規**
早稲田大学が連携しているタイへの訪問にあわせ、町内小学生を5～10日程度派遣。
- (4) 実践的英語教育・交流事業（早稲田大学連携事業） **新規** 220 千円
早稲田大学で受け入れている海外からの留学生と中学生との国際交流イベントを実施。
- (5) 早稲田大学所沢キャンパス文化祭出展（早稲田大学連携事業） **新規** 170 千円
早稲田大学所沢キャンパス文化祭に出展し、町のPRを実施。また、児童・生徒が大学の授業やキャンパスツアーを体験。
- (6) 空き教室を活用した語学教室（早稲田大学連携事業） **新規** 38 千円
学校の空き教室を活用し、早稲田大学で受け入れている海外からの留学生を講師とした語学教室を開催。地域活性化や実践的な英語の振興を図る。

○マレットゴルフ場整備及び周知活動

- (1) マレットゴルフ場建設工事 30,892 千円
町民の健康増進や地域活性化のため、マレットゴルフ場を整備。18ホール（土面）のコースのほか、附帯設備として管理棟、簡易トイレ、水道、駐車場を整備。
- (2) マレットゴルフ体験会の開催 197 千円
マレットゴルフの普及を図るため、体験会を3回開催。

Ⅲ 環境保全、産業・観光振興

- | | |
|--|-----------|
| (1) 日野沢川ふれあい広場整備 新規 | 11,605 千円 |
| 旧日野沢小学校の跡地を活用して、日野沢川の自然に親しむ親水広場を整備。休憩舎、安全フェンス、モニュメントを設置。 | |
| (2) 鴻巣市との連携“花とまつりと踊り”による交流事業 | 150 千円 |
| 本町同様ポピーで有名な鴻巣市と連携する。「こうのす花まつり」への出展や、共同で JR 大宮駅でのポピーPR 活動を実施。 | |
| (3) 親鼻河原観光トイレ建設 新規 | 10,153 千円 |
| 親鼻河原の観光トイレは昨年の台風 19 号により流されて全壊する被害があったことから、従前より高い場所に再度建設。 | |
| (4) 観光情報館の整備 | 1,694 千円 |
| 従来の町営バス発着所の待合室を観光情報館とすることから、新たに案内看板やパンフレットラックを整備。 | |
| (5) 有害鳥獣対策 | 2,843 千円 |
| 有害鳥獣駆除委託料、防護柵等設置費補助金、捕獲従事者補助金等。 | |

Ⅳ 安全で快適な生活基盤の整備

○緊急車両通行不能路線の解消、宅地造成誘導道路の整備、通学路の安全対策

- | | |
|----------------------------|------------|
| (1) 道路・橋りょう維持・整備事業 | 194,983 千円 |
| 町道の道路改良、舗装補修工事、橋りょう点検等を実施。 | |

○自主防災・防犯活動の推奨と支援

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 自主防災組織補助金 | 150 千円 |
| (2) 自主防犯パトロール団体資機材整備 | 220 千円 |
| (3) 災害備蓄物資購入 | 1,311 千円 |

Ⅴ 移住・定住の促進

○空き家・空き店舗活用支援

- | | |
|---|----------|
| (1) 空き店舗等活用補助金 | 1,000 千円 |
| 空き家、空き店舗を活用して新規創業したかたに対し、建物の購入・改修経費や一定期間の家賃補助を実施。 | |
| (2) 空き店舗等活用支援利子補給 | 50 千円 |
| 空き家、空き店舗を活用して新規創業したかたに対し、借入資金の利子の一部を補給する。 | |
| (3) 移住支援員報償金 新規 | 100 千円 |
| 移住支援員の登録制度を創設し、実績に応じて報償金を支給。 | |

Ⅵ 結婚支援

- | | |
|---------------------------------|--------|
| (1) 出会い・移住促進事業 | 660 千円 |
| 出会い、移住、定住につながる取組として、まち婚を開催。 | |
| (2) 婚活コーディネーター制度 | 200 千円 |
| コーディネーターの登録制度を創設し、実績に応じて報償金を支給。 | |

5 一般会計予算の概要

(1) 歳入

○自主財源

前年度当初予算と比較して 258,070 千円減額の 1,514,688 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 36.2%となりました。

減額の主な要因は、基金繰入金の減額（△273,945 千円）です。令和元年度当初予算では、普通交付税錯誤調整分の代替財源として財政調整基金繰入金を増額したほか、事業費の財源としても基金の活用を進めるため、公共施設整備基金や財政調整基金からの繰入を例年より増額していました。令和 2 年度はこれを平年度並みとしたため、自主財源は前年度と比べ、減額となっています。

○依存財源

前年度当初予算と比較して 325,990 千円増額の 2,665,012 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 63.8%となりました。

増額の主な要因は、地方交付税の増額（+200,233 千円）です。国の予算における地方交付税総額の増を受けて交付見込額を増額したほか、前年度は普通交付税の錯誤調整があり減額となっていた分が平年度並みに戻ることによるものです。

また、新たに法人事業税交付金が創設され、7,078 千円を見込んでいます。

○主な費目の概要

款 1 町税

前年度から 6,013 千円増額の 1,065,168 千円を計上しています。家屋の新增築による固定資産税の増額や、税率改正による町たばこ税の増額を見込んでいることが主な要因です。

款 6 法人事業税交付金

令和 2 年度から新設される交付金で、県から示された交付見込額を踏まえ、7,078 千円を計上しています。

税制改正による法人町民税法人税割の税率低下に伴う減収分の補てん措置として交付されるもので、県税である法人事業税のうち一部が市町村へと配分・交付されるものです。

款 7 地方消費税交付金

県から示された交付見込額を踏まえ、前年度から 55,300 千円増額し 232,000 千円を計上しています。うち、一般財源分と社会保障分、それぞれ 116,000 千円ずつを見込んでいます。

款 12 地方交付税

前年度から 200,233 千円増額の 1,498,742 千円を計上しています。国の予算における地方交付税総額の増を受けて交付見込額を増額したほか、前年度は普通交付税の錯誤調整があり減額となっていた分が平年度並みに戻ることによるものです。また、例年の交付実績に基づき積算方法も見直しました。

款 16 国庫支出金

前年度から 51,187 千円増額の 384,716 千円を計上しています。国神小学校・三沢小学校におけるトイレ洋式化工事に係る国庫補助として学校施設環境改善交付金 12,235 千円を見込んでいるほか、障害児給付費等国庫負担金等、福祉関係の国負担分の増額を見込んでいます。

款 17 県支出金

前年度から 15,182 千円減額の 287,840 千円を計上しています。ふるさと創造資金県補助金について、令和元年度は 18,300 千円を計上していましたが、令和 2 年度は対象となる事業を予定していないことから皆減としています。

款 19 寄附金

ふるさと納税について、実績を踏まえて前年度同額の 6,000 千円を計上しています。

款 20 繰入金

前年度から 273,945 千円減額の 211,681 千円を計上しています。前年度は普通交付税錯誤調整分の代替財源や事業費の財源として財政調整基金繰入金を 262,470 千円、公共施設整備基金繰入金を 222,456 千円計上していましたが、これを平年度並みとし、財政調整基金繰入金は 83,127 千円、公共施設整備基金繰入金は 117,854 千円としたため、大きく減額となっています。

款 23 町債

普通交付税の代替財源である臨時財政対策債 105,300 千円と、上水道広域化施設整備事業出資のための衛生債 71,800 千円を計上しています。また、埼玉県防災行政無線施設再整備事業負担金の財源として、6,000 千円の消防債を計上しています。

(2) 歳出

款 1 議会費

議場映像配信・録音設備 デジタル配信工事費として 1,001 千円を計上しているほかは、例年並みとなっています。

款 2 総務費

前年度から 58,447 千円の減額の 551,070 千円を計上しています。町営バス発着所改修工事費の皆減が主な減額の要因です。令和 2 年度は、固定資産税評価替えに向けた航空写真撮影等のための固定資産現況調査業務委託料 9,628 千円や、庁舎・文化会館屋内消火栓用配管敷設換え工事費 6,700 千円等を計上しています。

款 3 民生費

前年度から 38,726 千円増額の 1,315,927 千円を計上しています。障害児給付費等負担金、障害者自立支援給付費負担金等、社会保障経費の増大が主な要因です。

また、健康福祉課への「子育て支援担当」設置に伴い一部業務が教育委員会事務局から移管となることから、子どものための教育・保育委託料 5,472 千円が款 10 教育費から移動しています。

款 4 衛生費

前年度から 45,341 千円増額の 363,724 千円を計上しています。秩父広域市町村圏組合への上水道広域化施設整備事業出資金が前年度に比べて 36,700 千円増額の 71,800 千円となっていることが主な要因です。

款 5 労働費

住宅リフォーム資金助成金や労働関係団体負担金等、前年度とほぼ同様の計上となっています。

款 6 農林水産業費

前年度から 3,382 千円減額の 89,567 千円を計上しています。林道整備に係る測量設計調査委託料が 4,547 千円減額になるほか、前年度に計上していた大淵農業用水路工事費の皆減が主な要因です。

款 7 商工費

前年度から 19,318 千円増額の 80,128 千円を計上しています。日野沢川ふれあい広場整備工事費 11,605 千円、親鼻河原観光トイレ新築工事費 6,358 千円の計上が主な要因です。

款 8 土木費

前年度から 21,491 千円減額の 469,886 千円を計上しています。前年度に計上した町道皆野 59 号線踏切拡幅統廃合工事負担金 67,772 千円の皆減がある一方で、町道改良土地購入費が前年度から 24,050 千円の増額、町道補修工事費は 16,200 千円の増額となっています。

款 9 消防費

前年度から 10,476 千円増額の 248,910 千円を計上しています。埼玉県地上系防災行政無線施設再整備事業負担金 6,000 千円の計上や、広域市町村圏組合消防費負担金の 4,185 千円の増額が主な要因です。

款 10 教育費

前年度から 37,652 千円増額の 634,211 千円を計上しています。増額の主な要因は、国神小学校・三沢小学校におけるトイレ洋式化工事費 41,140 千円の計上です。グローバル教育や学力向上に係る取組については、前年度並みの計上です。

款 12 公債費

前年度から 2,810 千円減額となる 336,160 千円を計上しています。減額は、平成 26 年度に借り入れた消防団施設整備事業債等、過去の起債の償還完了によるものです。

6 基金残高

(単位：千円)

基金名	令和元年度末 現在高（見込）	令和 2 年度中の増減		令和 2 年度末 現在高（見込）
		積立額	繰入額	
財政調整基金	435,255	2,042	83,127	354,170
減債基金	447,973	123		448,096
災害見舞基金	7,424	100		7,524
地域福祉基金	210,079	39	10,000	200,118
公共施設整備基金	559,824	49	117,854	442,019
ふるさと水と土保全対策基金	2,046	1		2,047
図書購入基金	5,046	1	700	4,347
学校教育施設整備基金	2,314	211		2,525
森林環境整備基金	1,885	1,930		3,815
合計	1,671,846	4,496	211,681	1,464,661